

28CG-am03

クレメジン®細粒の吸着性および服用性に対する嚥下補助製品の影響

○吉田 都¹, 原口 珠実¹, 樋川 舞¹, 内田 享弘¹(¹武庫川女大薬)

【目的】クレメジン®細粒は、経口吸着炭で、消化管で分泌される尿毒症物質を吸着し、便とともに排泄する作用があり、進行性慢性腎不全における尿毒症症状の改善及び透析導入の遅延を目的に投与する製剤である。しかしながら、1回服用量が2gと高用量であることから、服用性が悪く、コンプライアンスの低下につながるものが指摘されている。本研究において、クレメジン®細粒を嚥下補助製品と組み合わせて服用することによる服用性の変化、尿毒症物質の吸着除去率の変化(*in vitro*および*in vivo*)について検討を行った。

【実験方法】嚥下補助製品として、ゼリー状のオプラート(三和化学)、お薬飲めたね(龍角散)、トロメリン顆粒(三和化学)を用いた。クレメジン®細粒を嚥下補助製品と組み合わせた検討では、クレメジン®細粒を嚥下補助製品と組み合わせて服用することによる服用性の変化については、SD法を用いて評価した。クレメジン®細粒を嚥下補助製品と組み合わせて尿毒症物質への吸着除去率を検討(*in vitro*および*in vivo*)については、尿毒症物質としてインドールを用いた。

【結果と考察】水と比較して嚥下補助製品でクレメジン®細粒を服用した場合、クレメジン®細粒の服用性が改善されることが示された。また、*in vitro*および*in vivo*においてクレメジン®細粒を嚥下補助製品と組み合わせた場合の尿毒症物質の吸着除去率は水で服用した場合と比較して有意な差は認められなかった。本研究の結果より、クレメジン®細粒を服用する際に嚥下補助製品を組み合わせることにより、尿毒症物質の吸着除去率を変えことなく、服用性が改善されることが示されたことからクレメジン®細粒を服用する際に嚥下補助製品を活用することによりコンプライアンスの向上につながる可能性が示唆された。